

海外の日本産酒類専門家の招聘

海外での日本産酒類の継続的な情報発信や付加価値向上を目的として、海外の酒類市場で影響力や情報発信力のある海外の酒類専門家を招聘し、酒蔵の視察等を通じて机上では学べない日本産酒類の特徴等のレクチャーを実施しました。また、視察地域の自治体や酒造組合等と連携して、専門家との人脈構築等を目的とした意見交換会を実施しました。

日本酒

- 日時：令和4年5月30日～6月3日
- 招聘者：WSETの日本酒コースにおけるテキスト編纂や講義に携わる者。
(英国、米国、ドバイなど計7名が参加)
- 訪問地：山口県（萩）、兵庫県（灘五郷）、山梨県、長野県
 - ・GI指定地域の日本酒製造場9蔵を訪問し、製造工程等を視察した他、「酒蔵ツーリズム」をテーマに酒米の生産から酒造気候、風土等を体験し、GI地域における酒造りについて稲作やジオパーク等の専門家によるレクチャーを実施。
 - ・蔵元との交流会において、日本酒のプロモーションなどについて意見交換を実施。
(山口県酒造組合、灘五郷酒造組合、山梨県酒造組合、JETRO山梨、長野県酒造組合等が主催)



(日本酒製造場視察の様子)



(ジオパーク 講義の様子)

焼酎・泡盛

- 日時：令和4年6月6日～6月9日
- 招聘者：WSETの蒸留酒コースを修了し、海外の酒類流通業に携わる者。
(英国、カナダ、シンガポールなど計6名が参加)
- 訪問地：沖縄県、宮崎県、鹿児島県
 - ・統一的な麴を基礎とした蒸留酒の特徴を伝えるため、原料ごとに特徴的な製造工程を行う沖縄県の泡盛製造場3蔵、九州地方の焼酎製造場4蔵を訪問し視察。
 - ・各地域の気候風土に適した様々な原料で製造される本格焼酎・泡盛の製造に精通した専門家による講義を実施。
 - ・蔵元との交流会において、焼酎・泡盛のプロモーション方法などについて意見交換。
(沖縄県酒造組合、鹿児島県庁が主催)



(製造場視察の様子)



(泡盛 講義の様子)